岐阜県飛騨市　地域学校協働活動通信

人が育つ　地域づくりの未来像

1
202311
子どもの学び、地域住民の生きがいづくりを行う地域学校協働活動推進員の活動を紹介する通信

楽しさが活動の原動力　～つながりが繋ぐ新たなつながり～

1

北平 智久　地域学校協働活動推進員(古川小学校区)
古川町出身。愛知県の大学へ進学後、東京の通信工事系の会社へ就職。国内外の勤務を経て2000年に地元へUターン。

地域の中で様々な役割を担っている北平さんに、横断的に地域活動に関わることへの思いや活動を行う上で大切にしていること、活動を通してわかったこと、今後の展望に至るまでたっぷりお話をお聞きしました。

すべてはつながりから生まれた飛騨での活動

―推進員として、どのような役割を担っているのか、また活動内容を教えてください。

学校運営協議会と地域学校協働本部をつなげるのが推進員の仕事だと思っています。コロナ禍ということもあり、なかなか進んでいないのが実情です。

活動の方向性としては、今まで各地域がやっていることを学校が核となり繋げていけると良いなと。

自分だからこそ出せる価値を子どもたちに

―古川小では、地域の方の学校活動への関わりしろとして「ふるさとアドバイザー」という制度がありますが、どのような活動をされているのでしょうか？

子どもたちのふるさと教育を充実させようという取り組みで、「ふるさとやんちゃ学」という名前をつけて活動しています。学年ごとにつけたい力があるので、プログラムなどの提案や地域との調整を行っています。

―北平さんはどのような思いをもって活動されていますか？

アドバイザー担当の防災教育においては〉知識をただ覚えるだけでなく、学んだ知識を日々の行動につなげてもらえたらという思いで活動しています。

―昨年度印象に残っている取り組みはありますか？

つい最近行った防災タウンウォッチングです。募集最終日にも関わらずまだ一名しか参加者がいないという状況でしたが、昨年実施した際の動画を通じて「楽しそう」と思ってもらうことができ、結果的に九名が参加してくれました。

学校教育が地域に関わる可能性

―ずばり、地域の大人が学校に関わるうえでどのような心がけをしたほうがいいでしょうか？

私が子どもの時は放任主義というか、甲斐性がある子づくりが自然と地域の中でできていたような気がするのですが、今は親の方が心配をしすぎているように思います。自分もそうですがそれを大人はどこまで我慢できるか。子どもたちには「もし制限がなければどんなことがやりたい？」というようなオープンクエスチョンの問いかけを心がけています。

これからの時代、大人側が問いかけをしっかりし、子どもたちからのリアクションに対してどう応援をしていくかを学んでいかなければならないとつくづく思います。子育ての勉強の場としても、みんなで語り合える場があるといいと思います。

古川中学校では「ふるさとコンシェルジュ」という立場から防災教育を担当されている北平さん

全文は
こちら↓

※こちらの内容は公開時点（2023年1月31日）の情報です

古小サポーター　令和４年１１月結成！

無理をしない、できることをできる範囲で

古川小校区の子どもたちが、安全・安心な生活を送れるようにすること、子どもと地域住民とのふれあいの場を広げ「地域みんなで地域の子どもたちを見守り応援する」風土を醸成すること、この二点を目的として活動を行っています。

きっかけ

きっと、自分から子どもたちを応援したい地域の方がみえるんじゃないかな

おそろいのベストを着てできることをやってみよう！

どんどん地域の方に子どもに関わってもらいましょう ▶ 地域学校協働本部に相談 ▶ 「古小サポーターの会」結成！

活動の紹介

朝の声掛け

課外授業のお助け

〈保護者から〉
古小サポーターの方が毎朝ともに通学いただき、すごく安心し感謝しています。

報　告

5月15日に意見交換会を開催！

〈参加者の感想〉
・子どもの元気な声に元気をもらっている
・子どもに認識してもらえるようになった

下出校長

見守る側からも喜びの声が聞けました！

今後の予定

運動会の前に行う草とり等、子どもたちと一緒に行える活動を増やしていきたい。

【体制】

古小サポーター

現在２９名が参加しています。
参加したい方はいつでも大歓迎！
詳しくは学校へお問い合わせください。

古川小学校地域学校協働活動推進員

大谷 吉憲　・　伊倉 牧人　・　北平 智久

地域学校協働活動、飛騨市学園構想の
最新情報はこちらから！（Facebook）